

そのけんニュース

討議資料

発行

自由民主党千葉県
第五選挙区支部長

衆議院議員

そのうらけんたろう
藺浦健太郎

平成25年(2013年)
No.25-05

子供の貧困対策

明日の日本を担うのは、今の子供たちであります。その子供たちの未来を明るいものとする鍵は、教育にあるといっても過言ではありません。しかし、子供が望む教育を受けられるかどうかは、生まれ育った家庭の経済状況などに左右されてしまうという悲しい現実があります。

今、日本の子供の7人に1人が貧困と言われており、先進国の中では非常に高い部類とされ、1人親に限ると5割強となります。これは先進国の中では最高水準です。その割合は増え続け、放置しておけば、さらに悪化する事でしょう。親の所得格差が、子供の教育格差に直結し、進学や修学の継続が困難な子供たちが急増しており、大人になっても生活困難を余儀なくされる貧困の連鎖が広がっております。

子供の将来や我が国の未来を、より一層輝かしいものとするためには、貧困の状況にある子供の育成環境を整備し、貧困の連鎖で子供の将来が閉ざされる事のないようにしなければなりません。

日本の国会において、成立する法案の大多数が内閣提出のものであります。その中で、国会議員が提出する法律案の事を議員立法と呼びます。

それに伴い、子供の貧困対策法案を、議員立法で成立させるべく、只今活動しております。

子供の貧困対策の推進に関する法律の目的としまして、子供の将来が、その生まれ育った環境によって左右される事のないように、貧困の状況にある子供が、健やかに育成される環境を整備するとともに、教育への機会均等を図るため、子供の貧困対策を総合的に推進していく事が目的です。

基本的な方針として、教育の支援に関する事項、生活の支援に関する事項、保護者に対する就労の支援に関する事項、経済的支援に関する事項、調査及び、研究に関する事項を定めてまいります。

どんな家庭の子供でも、努力次第でチャンスをつかめる社会でなければなりません。今国会で成立させるべく、邁進してまいります。

教育再生

私が事務局次長を務めております教育再生実行本部で第二次提言として、下記の提言がとりまとめられました。

★平成の学制大改革に関する提言

- ①幼児教育の無償化の実現
- ②6-3-3-4制の見直しと、義務教育の充実
- ③後期中等教育等の複線化（普通教育と専門教育、公立と私立）


★大学・入試の抜本改革に関する提言

- ①大学入試の抜本改革
- ②職業教育、体験活動で「志」を育てる
- ③大学等への支援強化、専修学校の認定制度と補助制度の創設

★新入材確保法の制定に関する提言

- ①教師の養成、採用の抜本改革
- ②管理職登用の資格化とメリハリある処遇
- ③「チーム学校」の実現、外部人材30万人の活用

これらの提言を実行するにあたっては、私学の独自性を十分に尊重してまいります。なお、教育再生実行本部においては、引き続き、教育再生の実行のための検討を進め、逐次提言等を取りまとめる予定です。

	衆議院議員		<small>そのうらけんたろう</small> 園浦健太郎	自由民主党千葉県 第五選挙区支部長
	地元事務所	〒272-0021	千葉県市川市八幡2-16-20-203	
	電話番号		047-318-1001	
	FAX		047-336-8801	
	国会事務所	〒100-8981	東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館321号室	
	電話番号	代表	03-3581-5111	
			内線 50321	
		直通	03-3508-5280	
	FAX		03-3508-3305	
	E-mail		sonoura@au.wakwak.com	
ホームページ		http://www.sonoken.org		
◆現在の主な役職◆				
衆議院 外務委員会理事	自民党 文部科学部会部会長代理	自民党 雇用問題調査会事務局次長		
衆議院 安全保障委員会理事	自民党 教育再生本部事務局次長	自民党 航空政策特別委員会副委員長		
衆議院 拉致問題に関する特別委員会理事	自民党 教育・文化・スポーツ関係団体委員長	自民党 女性活力特別委員会事務局長		
自民党 青年局次長	自民党 部活動の在り方に関するPT座長			
自民党 労政局次長	自民党 キャリア教育推進特命委員会幹事			